

町村合併によるまちづくりの精神を基本に「活力あるまち」「安全・安心のまち」「協働・自立のまち」洞爺湖町の実現を進めてまいります。

私の町政に望む基本姿勢であります。初心を忘れず、公平・公正に町民の声に耳を傾けながら開かれた町政を推進する町民の目線に立った町政の執行であります。

さらには、本年度策定された「洞爺湖町まちづくり総合計画」は、平成19年度が重要なスタートの年となりますが、その基本構想の趣旨であります「農業と水産業を生かした観光のまち」の実現に向け、厳しい財政状況を踏まえながら、しっかりと取り組んでまいり所存であります。

行財政改革大綱の実行

北海道の経済状況は、一部製造業での好転の兆しがあり、賃金の上昇や雇用の増加などの期待感から回復基調での推移が見込まれておりますが、本町においては、観光客の入り込み、農業生産、水産業漁獲高などは比較的順調に推移している傾向ではありますが、しかし、景気

回復の波及が見られず、町税収入が伸び悩みの状況にあります。

町財政運営は、地方負担の増加、一般財源である地方交付税や町税の減少、公債費償還の増加などによって、今後深刻な財政状況に陥ることが予測され、大きな課題となっております。

このことから、平成19年度を初年度とする行財政改革大綱の確実な実行が最も重要であると認識しており、その実行においては、職員の意識改革を推進進めるとともに、町民への不安要因を最小限に留めるよう努めてまいりますので、ご理解を賜りたいと存じます。

平成19年度の予算編成については、歳入不足などにより、大変困難な財源対策を余儀なくされましたが、事業の選択と財源の集中に努め、町民の生活に密着した事業の確保と施策の展開を図りつつ、経常経費の削減、人件費の独自削減を行い、今後の大きな負担となる町債の抑制など、将来への財政基盤の確立を念頭に編成したところであります。

平成19年度

まちの予算



一般会計、各特別会計、企業会計を含めた予算総額は、137億8千194万円で、前年度当初予算額142億4千730万円に比べ3・3%の減となっております。

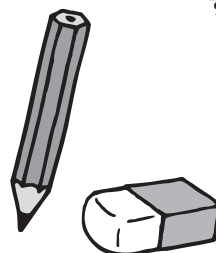
平成19年度に、国から地方へ個人住民税と所得税の税率を変えることで町税として税源移譲されますが、その影響額は微増の見込みとなっております。また、地方交付税についても減の見込みで、町税、地方交付税等の経常一般財源は前年度比2・4%減の予算となっております。その他の収入も前年度並み、あるいは前年度を下回る予算です。

歳出については、経常事務経費、各公共施設の維持管理費の減額、特別職、議会議員報酬の削減、一般職員の人件費独自削

減、町内各種団体に対する補助交付金の削減などに努めたところですが、有珠山噴火災害の復旧事業、災害関連事業で長期借入した町債の返済の公債費は増

加しています。このため、歳入不足額は9億1千万円でこの補填のため、基金（家庭でいうと非常時に備えて蓄えていた定期預金）を取崩し、財源確保を図る極めて厳しい予算です。

なお、歳入不足の改善のため、平成18年度策定した洞爺湖町行政改革実施計画に基づき、歳出削減を中心に取組むこととしています。



●各会計別予算表

(単位:千円、%)

会計名	平成19年度当初予算額	平成18年度当初予算額	増減額	増減率
一般会計	7,875,994	8,191,189	315,195	3.8
国民健康保険特別会計	1,683,286	1,592,765	90,521	5.7
公共下水道事業特別会計	972,458	1,014,867	42,409	4.2
老人保健特別会計	1,909,040	1,909,795	755	0.0
介護保険特別会計	748,850	813,826	64,976	8.0
簡易水道事業特別会計	95,840	98,544	2,704	2.7
観光施設特別会計		24,480	24,480	皆減
企業会計	収益的収支 274,838	収益的収支 273,689	1,149	0.4
水道事業会計	資本的収支 221,633	資本的収支 328,146	106,513	32.5
合計	13,781,939	14,247,301	465,362	3.3